

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
佐賀県競技力向上推進本部

第10回本部会議



令和2年3月19日（木）
佐賀県スポーツ会館3階 大会議室

報告事項

- (1) 役員及び委員等の変更について・・・P 2～ P 3
- (2) 専決事項について・・・P 4
- (3) 佐賀県競技力向上推進本部会議等の開催状況について・・・P 5
- (4) 第12回及び第13回国スポ選手強化対策委員会について・・・P 6～ P 7
- (5) 第9回及び第10回障害者スポーツ普及委員会について・・・P 8
- (6) 第74回国民体育大会結果（別冊）・第19回全国障害者スポーツ大会
について・・・P 9～ P 10
- (7) 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会
愛称・メッセージについて・・・P 11～ P 12

役員及び委員の変更

選出区分	所属機関・団体・役職名	新	旧
県関係	佐賀県教育委員会 教育長	落合 裕二	白水 敏光
産業・経済関係	佐賀県商工会議所連合会 会長	陣内 芳博	井田 出海

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
佐賀県競技力向上推進本部 役員・委員名簿

R2.3.19

本部長：1名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	小林 万里子	佐賀県副知事

副本部長：3名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	田中 裕之	佐賀県文化・スポーツ交流局 局長
2		落合 裕二	佐賀県教育委員会 教育長
3	体育・スポーツ関係	副島 良彦	(公財) 佐賀県スポーツ協会副会長

委員：17名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県議会関係	中村 圭一	佐賀県議会総務常任委員会 委員
2	市町関係	秀島 敏行	佐賀県市長会 会長
3		末安 伸之	佐賀県町村会 会長
4	産業・経済関係	陣内 芳博	佐賀県商工会議所連合会 会長
5		峰 英太郎	佐賀県商工会連合会 会長
6		中富 博隆	佐賀県経営者協会 会長
7	学校関係	中島 慎一	佐賀県高等学校体育連盟 会長
8		下平 博明	佐賀県中学校体育連盟 会長
9		富永 英美	佐賀県小学校校長会 会長
10	学識経験者	池上 寿伸	佐賀大学 教授
11	体育・スポーツ関係	森田 久代	ロサンゼルスオリンピック日本選手団 選手
12		大田 芳洋	(公財) 佐賀県スポーツ協会 監事
13		龍 富貴夫	(公財) 佐賀県スポーツ協会競技力向上委員会 委員長
14	障害者スポーツ関係	末次 康裕	(一社) 佐賀県障がい者スポーツ協会 会長
15		土井 志穂	佐賀県障がい者スポーツ指導者協議会 会長
16	県関係	川久保 三起子	佐賀県健康福祉部 部長
17		尊田 重信	佐賀県会計管理者

令和元年度補正収支予算

【R2.2.6付専決処分】

1 収入

(単位:千円)

科目	現計予算額	補正額	補正後予算額	備考
負担金	372,274	△ 45,337	326,937	佐賀県負担金
繰越金	10,773	0	10,773	H30繰越金
雑収入	2	0	2	利息収入等
計	383,049	△ 45,337	337,712	

2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	事業名	現計予算額	補正額	補正後予算額
国民体育大会	事業費		375,682	△ 44,376	331,306
			370,226	△ 44,376	325,850
		選手育成事業	182,111	△ 12,109	170,002
		運動部活動等設立支援事業	7,000	△ 5,200	1,800
		選手支援事業(奨学金)	18,000	0	18,000
		強化指定選手認定事業	6,830	△ 1,941	4,889
		ターゲットエイジ選手発掘事業	1,050	△ 150	900
		トライアウト開催事業	3,692	△ 632	3,060
		強化拠点校支援事業	48,800	△ 5,440	43,360
		強化拠点地域支援事業	12,500	△ 1,025	11,475
		強化企業チーム支援事業	5,000	△ 500	4,500
		佐賀県中学校体育連盟支援事業	11,000	0	11,000
		指導者招聘事業	23,120	△ 2,285	20,835
		指導者研修事業	15,714	△ 5,211	10,503
		スポーツアドバイザー配置事業	7,004	△ 3,470	3,534
		スタッフ育成事業	4,104	108	4,212
	競技用具等購入事業	24,301	△ 6,521	17,780	
	事務局費		5,456	0	5,456
全国障害者 スポーツ大会	事業費		7,367	△ 961	6,406
			6,805	△ 961	5,844
		団体競技選手発掘・育成事業	1,067	0	1,067
		個人競技選手発掘・育成事業	1,073	△ 496	577
		団体・個人競技チーム活動支援事業	1,506	△ 201	1,305
		団体競技チーム競技力向上事業	1,167	0	1,167
		育成指定選手の認定事業	477	0	477
		指導者育成事業	161	△ 105	56
	団体競技普及事業	1,184	△ 159	1,025	
	広報活動事業	170	0	170	
	事務局費		562	0	562
	計		383,049	△ 45,337	337,712

**国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
佐賀県競技力向上推進本部 会議等開催状況**

年度	月・日	内 容
R1	7月4日	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部「第9回本部会議」を開催
	8月22日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第9回専門委員会」を開催
	10月30日	「第12回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	11月14日	「第9回障害者スポーツ普及委員会」を開催
	1月29日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第10回専門委員会」を開催
	1月29日	「第10回障害者スポーツ普及委員会」を開催
	2月10日	「第13回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	3月19日	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部「第10回本部会議」を開催

第12回(R1.10.30) 国スポ選手強化対策委員会 概要

○協議事項

(1) 令和2年度事業計画(案)について

- ・指導者招聘事業について、事業実施の方法や招聘する講師等については、見直しが必要ではないかという意見があり、本部事業及びスポーツ協会事業について見直しを検討している旨、事務局より回答。

第13回(R2.2.10) 国スポ選手強化対策委員会 概要

○審議事項

(1) 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について

- ・各競技団体の強化の方法・方針について調査を行い、「拠点校」から競技団体の「選抜」での強化に移行する競技があったので、その変更を加え令和2年度の強化拠点校(案)を作成したことを説明。

「拠点校」から競技団体の「選抜」に移行する場合、その費用が必要という意見があり、競技団体の「選手育成費」に費用を上乗せするケースがあることを、事務局より回答。

- ・令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案)については、本部会議の原案として了承。

(2) 令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)について

- ・昨年度から引き続きのクラブ(拠点地域)に新規のクラブを加えて、令和2年度の拠点地域(案)について事務局より説明。

- ・特に意見等なし。令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)については、本部会議の原案として了承。

(令和2年度佐賀県強化企業チームについては、令和元年度から追加・変更がなかったため、参考として提示。)

(3) 令和2年度事業計画(案)について

- ・選手育成事業費に関して、拠点校から選抜に移行した団体については強化費用の加算があることを、関係競技団体に周知していただきたいとの意見があり、当該競技団体には、事業計画の申請段階で説明・指導を行っていくことを、事務局より説明。
- ・令和2年度事業計画(案)については、予算要求額についても審議し、本部会議の原案として了承。

第9回(R1.11.14)障害者スポーツ普及委員会 概要

○協議事項

(1) 令和2年度事業計画(案)についての意見

- ・個人競技選手発掘・育成事業で行われる体験教室と障がい者スポーツ協会が行っているスポーツ教室の違いがわかりにくいとの意見があり、協会で行っている教室との開催目的等について、事務局から説明。

(2) その他の意見

- ・有望選手が県内で働く場所がないとのことで、県外に流出した。健全者だけではなく、障害者でも優秀な選手の県内雇用をお願いしたい。

第10回(R2.1.29)障害者スポーツ普及委員会 概要

○審議事項

(1) 令和2年度事業計画(案)についての意見

- ・育成指定選手の認定式を9月に行うとのことだが、団体競技は九州ブロック予選会終了後に予選会出場選手が指定選手となっている。指定選手になれば翌年の予選会に出場できると勘違いする選手もあり、チーム運営がやりにくいため、団体競技は予選会前に認定式を開催してはどうかとの意見があったが、個人競技の選手選考の関係で団体競技選手も一緒に9月に開催しているが、開催時期については今後検討する旨を事務局から回答。
- ・遠方から練習に参加する選手に対して、交通費の助成などがあれば、選手も集めやすいので、検討してほしいという意見があり、他県の取組を参考に検討する旨を事務局から回答。
- ・個人競技選手発掘・育成事業で行われる体験教室の開催は、参加者にとってはスポーツの機会が増えてよいとは思いますが、指導者は佐賀県障がい者スポーツ協会が行っているスポーツ教室と同じ人がやっており、指導者の負担感があるので、県と協会連携してやっていく必要があるのではないかという意見があり、事務局から指導者の負担とならないような形で協会と連携してやっていく旨を回答。
- ・令和2年度事業計画(案)については予算(案)についても審議し、本部会議の原案として了承。

(2) その他の意見

- ・競技介助者やボランティアの養成について、今後考えていく必要があるのではないか。

第19回全国障害者スポーツ大会茨城大会（いきいき茨城ゆめ大会）

（令和元年10月12日～14日）

○競技別選手数

競技名	人数
陸上競技	10
水泳	3
アーチェリー	1
卓球	4
フライングディスク	3
ボウリング	2
計	23

○大会中止までの経緯

月 日	時 間	内 容
10月9日(水)	16時54分	大会事務局から競技中止の連絡 (水泳、ソフトボール、フットベースボール、グラ ンドソフトボール、バレーボール<身体・精神>、 サッカー)
10月10日(木)	8時42分	大会事務局から競技中止の連絡 (ボウリング、アーチェリー)
	10時50分	選手団が茨城県へ向けて出発 (陸上競技、卓球、フライングディスク)
	13時5分	大会事務局から競技中止の連絡 (卓球)
	14時30分	大会事務局から大会中止の連絡、選手団帰佐へ
	23時20分	選手団帰佐

茨城新聞

2019年10月10日(木)

障スポ、全日程中止 台風接近で安全考慮 県外選手団 2500人、既に茨城県入り

0件 tweet 0 チェック シェア 34

12日から3日間の日程で開催予定だった第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」について、主催する茨城県は10日、台風19号の接近に伴い、全日程を中止すると発表した。順延もしない。荒天で一部競技が中止された例は過去にあったが、全日程の中止は大会史上初めて。県は「選手や県民の安全を第一に考えた」と中止の理由を説明した。

同大会は国民体育大会の直後に開催県で毎年開かれる国内最大の障害者スポーツの祭典。

笠松運動公園(ひたちなか市)などを会場に、陸上など個人6競技、車いすバスケットボールなど団体7競技の計13競技とオープン競技を実施し、47都道府県と20政令市から約5800人の選手団の参加が見込まれていた。

大会の開催基準要綱は、開幕前や会期中に災害が発生した場合、「実施不可能な競技が3分の2程度に達した時は大会を中止する」としている。

県は8日以降、競技ごとに競技団体や会場の市町村と実施の可否を検討し、9日にサッカーや水泳など6競技の中止を決定。台風の進路が確定してきた10日にはアーチェリーや卓球など3競技の中止も決まり基準に達した。

3日間の全日程中止の理由として、県は安全上の問題に加え、審判や競技補助員らが会場に来られない可能性があり、天候が回復したとしても競技会場の仮設施設の準備に時間を要することなどを挙げた。

さらにJR東日本で計画運休の可能性も浮上。スポーツ庁からの大会中止の提案を受け、県は同庁や日本障がい者スポーツ協会と主催者間で協議し、10日午後2時5分、全日程の中止を正式に決めた。

県によると、県外から選手団約2500人(10日時点)が既に本県入りしており、県は同日夜、県庁で各選手団の代表者を対象に説明会を開催。参加者からは「判断が遅かったのではないか」などと対応を疑問視する声が続いだ。

大井川和彦知事は「開催に向けて長い間ご尽力いただいた一人一人のことを思うと大変残念だが、選手、県民の安全を第一に考えた否決の決断であることを理解してほしい」とのコメントを出した。

同大会には皇嗣(こうし)秋篠宮さまご夫妻と次女の佳子さま、高円宮妃久子さまも来場される予定だった。(戸島大樹)







第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会
愛称・メッセージについて

SAGA 2023

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

【参考】先催県の愛称・スローガンの規定書体

R1 茨城県	愛称	いきいき茨城ゆめ国体
	スローガン	飛べ 羽ばたけ そして未来へ
	既定書体	
R2 鹿児島県	愛称	燃ゆる感動かごしま国体
	スローガン	熱い鼓動 風は南から
	既定書体	
R3 三重県	愛称	三重とこわか国体
	スローガン	ときめいて人ががやいて未来
	既定書体	
R4 栃木県	愛称	いちご一会とちぎ国体
	スローガン	夢を感動へ。感動を未来へ。
	既定書体	

(趣旨)

スポーツにはさまざまな『チカラ』があります。人が生き生きと暮らすための大きな一つの要素であり、競技をするだけでなく支える人、観る人もいろんなことを学ぶことができ、一歩前に進む勇気をもらえます。

国内では、2019年にラグビーワールドカップが開催され、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、国民にとってスポーツへの関心や期待がますます高まっています。また、このスポーツを通じた地域社会の活性化や国際交流、経済の発展など、スポーツの社会的な価値はグローバルに広がっています。

このような中で、「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わり、2023年の佐賀大会が、スポーツ大会として初めての本大会になります。佐賀県は、名前が変わるだけではなく、大会をより良いものに変えていきたいと考えています。

佐賀大会の開催に向けては『スポーツだからできること』にスポットを当てた、『新しい大会』を目指していきます。

その最初の取組として、新しく生まれ変わるスポーツ大会に相応しいデザインをイメージし、愛称を『SAGA2023（さがに一まるに一さん）』、メインメッセージを『新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。』とし、シンプルかつ率直に伝わるようなカタチにしました。

なお、メッセージについては従来のスローガンのような活用方法にとらわれず、時機やターゲットに応じて変えていくことも考えています。

佐賀県では、「SAGA スポーツピラミッド (SSP) 構想」^{*1}を掲げ、トップアスリートの育成とともに、“する”、“育てる”、“観る”、“支える”といった、それぞれのスタイルで誰もがスポーツを楽しむ文化の裾野の拡大を図り、スポーツの力で世界に誇れる人づくり、地域づくりを目指しています。

SAGA2023では、すべての人が自分のスタイルでスポーツを楽しみ、共感し合える喜びや感動など、スポーツのチカラを佐賀から発信していきます。

※1 SSP 構想とは

佐賀から世界に挑戦する佐賀ゆかりのトップアスリートの育成を通じて、スポーツ文化(する、育てる、観る、支える)の裾野を拡大し、さらなるトップアスリートの育成につながる好循環を確立することで、スポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを進めるプロジェクトです。このプロジェクトの長期目標としては、佐賀に根付く新しいスポーツ文化の確立を掲げています。

審議事項

- 第1号議案 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置（案）について・・・P 14～P 18
- 第2号議案 令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置（案）について・・・P 19
- 第3号議案 令和2年度事業計画（案）について・・・・・・・・・・・・・・P 20～P 22
- 第4号議案 令和2年度収支予算（案）について・・・・・・・・・・・・・・P 23
- 第5号議案 競技力向上推進本部の名称変更及び本部規約の改正（案）について
・・・・・・・・P 24～P 25

第1号議案 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案)

R1 高等学校 [指定校]33校98運動部(31競技)
 [推進校]23校39運動部(13競技)
 中学校 [指定校]24校41運動部(12競技)



R2 高等学校 [指定校]32校95運動部(30競技)
 中学校 [指定校]10校14運動部(4競技)
 ※ 中学校の減8競技については競技団体による選抜強化に移行

【 競技別 】

NO	競技	種目	高等学校				中学校			
			指定校				指定校			
			NO	性別	校名	新規	NO	性別	校名	新規
1	水泳	競泳	1	男	佐賀商業					
			2		佐賀学園					
			3	女	佐賀商業					
			4		佐賀学園					
		飛込	5	女	致遠館					
		水球	6	男	佐賀東					
			7	女						
2	ボート		8	男	唐津東					
			9		唐津西					
			10	女	唐津東					
			11		唐津西					
3	セーリング		12	男	唐津西					
			13		唐津工業					
			14	女	唐津西					
4	陸上		15	男	佐賀工業					
			16		鳥栖工業					
			17	女	佐賀北					
			18		佐賀清和					
5	サッカー		19	男	佐賀東					
			20	女	神埼					
6	テニス		21	男	敬徳					
			22	男	早稲田佐賀	○				
			23	女	鳥栖商業					
					佐賀商業					
7	ホッケー		25	男	伊万里商業・伊万里実業					
			26	女						
8	ボクシング		27	男	高志館					
			28		白石					
			29	女	白石	○				
			30		高志館					
9	バレーボール		31	男	佐賀商業					
			32		佐賀学園					
			33	女	佐賀清和					
					34	鳥栖商業				
10	体操	競技	35	男	鳥栖工業		1	男	鳥栖	
			36	女	鳥栖		2	女	鳥栖 田代	
							3			
		新体操	37	男	神埼清明	○				
			38	女	佐賀女子					
			39		佐賀北					
11	バスケットボール		40	男	佐賀北		4	男	成章	○
			41		佐賀東		5	女	昭栄 城西	
			42	女	佐賀北		6			
			43		佐賀清和					
12	レスリング		44	男	鳥栖工業					
			45		鹿島					

NO	競技	種目	高等学校				中学校			
			指定校				指定校			
			NO	性別	校名	新規	NO	性別	校名	新規
13	ウエイトリフティング	46	男	有田工業						
		47	女							
14	ハンドボール	48	男	佐賀清和		7	男	神埼		
		49		神埼清明		8		東原彦倉中央校		
		50	女	神埼清明		9	女	神埼		
		51		佐賀清和		10		東原彦倉中央校		
15	自転車	52	男	龍谷						
16	ソフトテニス	53	男	嬉野						
		54		佐賀工業						
		55	女	佐賀清和						
		56		嬉野						
17	卓球	57	男	北陵						
		58		敬徳						
		59	女	佐賀商業						
		60		敬徳						
18	相撲	61	男	多久						
19	柔道	62	男	佐賀商業						
		63		佐賀工業						
		64	女	佐賀商業						
		65		小城						
20	ソフトボール	66	男	牛津						
		67	女	佐賀女子						
		68		鹿島						
21	フェンシング	69	男	佐賀商業						
		70	女							
22	バドミントン	71	男	唐津南						
		72	女	佐賀女子						
23	ライフル射撃	73	男	佐賀学園						
		74	女	佐賀学園	○					
24	剣道	75	男	龍谷		11	男	北茂安		
		76		敬徳		12		江北	○	
		77	女	三養基		13	女	三瀬		
		78		佐賀学園	○	14		神埼	○	
25	ラグビーフットボール	79	男	佐賀工業						
		80	女							
26	スポーツクライミング	81	男	多久						
		82		佐賀工業						
		83	女	多久						
27	空手道	84	男	佐賀東						
		85		龍谷						
		86	女	佐賀北						
		87		龍谷	○					
28	アーチェリー	88	男	高志館						
		89	女	高志館						
29	カヌー	90	男	神埼						
		91		鳥栖工業						
		92	女	鳥栖工業	○					
		93		伊万里農林・伊万里実業	○					
30	なぎなた	94	女	佐賀東						
		95		牛津						

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校				
		NO	性別	競技	種目	新規
1	佐賀東	1	男	水泳	水球	
		2	女			
		3	男	サッカー		
		4	男	バスケットボール		
		5	男	空手道		
		6	女	なぎなた		
2	佐賀北	7	女	陸上		
		8	女	体操	新体操	
		9	男	バスケットボール		
		10	女			
		11	女	空手道		
3	致遠館	12	女	水泳	飛込	
4	唐津東	13	男	ボート		
		14	女			
5	唐津西	15	男	ボート		
		16	女			
		17	男	セーリング		
		18	女			
6	鳥栖	19	女	体操	競技	
7	鹿島	20	男	レスリング		
		21	女	ソフトボール		
8	神埼	22	女	サッカー		
		23	男	カヌー		
9	三養基	24	女	剣道		
10	小城	25	女	柔道		
11	白石	26	男	ボクシング		
		27	女	ボクシング		○
12	唐津南	28	男	バドミントン		
13	伊万里農林	29	女	カヌー(伊万里実業と合同)		○
14	高志館	30	男	ボクシング		
		31	女			
		32	男	アーチェリー		
		33	女			
15	佐賀工業	34	男	陸上		
		35	男	ソフトテニス		
		36	男	柔道		
		37	男	ラグビーフットボール		
		38	女			
		39	男	スポーツクライミング		
16	唐津工業	40	男	セーリング		
17	鳥栖工業	41	男	陸上		
		42	男	体操	競技	
		43	男	レスリング		
		44	男	カヌー		
		45	女	カヌー		○

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校				
		NO	性別	競技	種目	新規
18	有田工業	46	男	ウエイトリフティング		
		47	女			
19	佐賀商業	48	男	水泳	競泳	
		49	女			
		50	女	テニス		
		51	男	バレーボール		
		52	女	卓球		
		53	男	柔道		
		54	女			
		55	男	フェンシング		
56	女					
20	鳥栖商業	57	女	テニス		
		58	女	バレーボール		
21	伊万里商業	59	男	ホッケー(伊万里実業と合同)		
		60	女			
22	牛津	61	男	ソフトボール		
		62	女	なぎなた		
23	神埼清明	63	男	体操	新体操	○
		64	男	ハンドボール		
		65	女			
24	多久	66	男	相撲		
		67	男	スポーツクライミング		
		68	女			
25	嬉野	69	男	ソフトテニス		
		70	女	ソフトテニス		
26	龍谷	71	男	自転車		
		72	男	剣道		
		73	男	空手道		
		74	女	空手道		○
27	佐賀清和	75	女	陸上		
		76	女	バレーボール		
		77	女	バスケットボール		
		78	男	ハンドボール		
		79	女			
		80	女	ソフトテニス		
28	佐賀女子	81	女	体操	新体操	
		82	女	ソフトボール		
		83	女	バドミントン		
29	佐賀学園	84	男	水泳	競泳	
		85	女			
		86	男	バレーボール		
		87	男	ライフル射撃		
		88	女	ライフル射撃		○
		89	女	剣道		○
30	北陵	90	男	卓球		
31	敬徳	91	男	テニス		
		92	男	卓球		
		93	女			
		94	男	剣道		
32	早稲田佐賀	95	男	テニス		○

【 学校別:中学校 】

NO	校名	指定校				
		NO	性別	競技	種目	新規
1	東原摩舎中央校	1	男	ハンドボール		
		2	女	ハンドボール		
2	成章	3	男	バスケットボール		○
3	昭栄	4	女	バスケットボール		
4	城西	5	女	バスケットボール		
5	三瀬	6	女	剣道		
6	鳥栖	7	男	体操	(競技)	
		8	女	体操	(競技)	
7	田代	9	女	体操	(競技)	
8	神埼	10	男	ハンドボール		
		11	女	ハンドボール		
		12	女	剣道		○
9	北茂安	13	男	剣道		
10	江北	14	男	剣道		○

第2号議案 令和2年度 佐賀県強化拠点地域の設置(案)

R1拠点地域 24クラブ



R2拠点地域 27クラブ

NO	競技(種目)名	クラブ名	性別	活動地域	新規
1	水泳(飛込)	佐賀ダイビングクラブ	男・女	佐賀市	
2	水泳(水球)	佐賀水球クラブ 葉隠Rex	男	佐賀市	
3	サッカー	サガン鳥栖 U-15	男	鳥栖市	
4		FCアレグリカミーニョ U-15	女	佐賀市	
5	ホッケー	伊万里ホッケークラブ	男・女	伊万里市	
6	ボクシング	吉永ボクシングジム	男・女	佐賀市	
7	バレーボール	唐津ビーチバレークラブ	男・女	唐津市	○
8	体操(新体操)	神埼ジュニア新体操クラブ	男	神埼市	○
9	体操(新体操)	かささぎRG	女	佐賀市	
10	レスリング	鳥栖レスリングクラブ	男・女	鳥栖市	
11		鹿島レスリングクラブ	男・女	鹿島市	
12	ウエイトリフティング	佐賀ウエイトリフティングクラブ	男・女	佐賀市	
13	自転車	佐賀県競輪選手愛好会	男・女	武雄市	
14	相撲	北方相撲クラブ	男	武雄市	
15	馬術	チームひがしせふり	男・女	吉野ヶ里町	
16	フェンシング	佐賀ジュニアフェンシングクラブ	男・女	佐賀市	
17	バドミントン	佐賀サンライズバドミントンクラブ	男・女	佐賀市	
18		BSM	男・女	唐津市	
19	ラグビーフットボール	佐賀ウイメンズラグビーフットボールクラブ	女	佐賀市	
20	スポーツクライミング	佐賀ユースクライミングクラブ	男・女	多久市	
21	銃剣道	大河塾	男	大町町	
22	アーチェリー	佐賀ジュニアアーチェリークラブ	男・女	佐賀市	
23		唐津ジュニアアーチェリークラブ	男・女	唐津市	
24	カヌー	神埼ジュニアカヌークラブ	男・女	神埼市	
25	ボウリング	佐賀ジュニアボウリングクラブ	男・女	佐賀市	○
26	なぎなた	嬉野なぎなたクラブ	女	嬉野市	
27		佐賀東ジュニアなぎなたクラブ	女	佐賀市	

第3号議案 令和2年度事業計画(案)

1. 国民体育大会・国民スポーツ大会

(1) 会議等の開催

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
本部会議の開催	競技力向上に係る基本的・総合的な事項の審議・決定を行う。	第9回 7月4日(木) 第10回 3月19日(木)開催	6月・3月
国スポ選手強化対策委員会の開催	競技力向上に関する調査・決定を行う。	第12回 10月30日(水) 第13回 2月10日(月)開催	10月・2月
専門委員会の開催	国スポの競技力向上に関する事業方法を協議する。	第9回 8月22日(木) 第10回 1月29日(水)開催	8月・1月

(2) 佐賀国スポ選手強化事業

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
選手育成事業	各競技団体が、国スポをはじめとする最高峰の大会において入賞者を輩出するために実施する強化練習等に要する経費に対し、補助を行う。	・各競技団体における競技力向上事業を実施。	4月～3月
運動部活動等設立支援事業	運動部活動等の設立に要する経費に対して補助し、練習環境を整備することで、少年選手の確保や育成、強化を図る。	・令和元年度については、設立部は無し。活動支援費のみ補助。	必要に応じて
選手支援事業	原則、県外から県内の学校に進学した選手及び県内の選手の中で、特に活躍が期待される選手を指定し、その活動を支援することで、少年選手の競技力向上を図る。	・50名の高校生、中学生選手に、スポーツ奨学金を交付。	4月～3月 (県スポ協実施)
SEAS支援対象選手及び強化指定選手・ネクスト選手認定事業	全国レベルや世界レベルで活躍する可能性のある選手をSEASの支援対象選手とし、かつ主力となり得る選手については強化指定選手として認定するなど、「オール佐賀」としての意識の高揚を図るため、「認定証交付式」を実施する。	・6月9日(日)に認定証交付式を開催。870名の指定選手に認定証と認定Tシャツを授与。	6月
ターゲットエイジ選手発掘事業	県内の民間施設とタイアップしたスポーツ体験教室等の開催や、学校等への出前講座を実施し、子供たちにさまざまなスポーツに触れる機会を提供することで、ターゲットエイジ選手の発掘につなげる。	【ボート競技】 ・中学校での模擬体験会を実施。 【アーチェリー競技】 ・中学校での体験会を実施。 【フェンシング競技】 ・大型商業施設でのデモンストレーション及び模擬体験会を実施。	必要に応じて
トライアウト開催事業	選手の適性(潜在能力)を再発見し、より高い競技パフォーマンスが期待できる競技・種目に転向するための選考会(トライアウト)を実施し、国民スポーツ大会における入賞を目指す選手を発掘する。	・9月1日(日)第1ステージ 小・中学生319名が参加。 ・9月8日(土)～12月1日(日)第2ステージ、小・中学生延べ34名が参加。	9月～12月
強化拠点校支援事業	国スポにおける総合成績を高めていくためには、少年種別の競技力向上が不可欠であるため、現状又は将来性を分析した各競技団体の推薦に基づき、強化の拠点となる高校及び中学校を指定し、その強化活動を支援することで、少年種別のレベルアップを図る。	・指定校運動部に活動支援費を交付。 【高等学校】 ・指定校 33校98運動部(31競技) ・推進校 23校39運動部(13競技) 【中学校】 ・指定校 24校41運動部(12競技)	4月～3月
強化拠点地域支援事業	中学校に運動部活動がない競技(種目)で、クラブチームを有する地域のうち、その競技が地域に根付き強化の拠点となっている地域(クラブチーム)を指定し、その強化活動を支援することで、ジュニア層のレベルアップを図る。	・24地域(クラブ)に活動支援費を交付。 (競技:水泳、サッカー、ホッケー、ボクシング、体操、レスリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、銃剣道、アーチェリー、カヌー、なぎなた)	4月～3月
強化企業チーム支援事業	国体・国スポの正式競技に取り組んでいる企業チームのうち、主体的に活動する企業チームを指定し、その強化活動を支援することで、成年選手のレベルアップを図る。	・6企業チームに活動支援費を交付。 (競技:バレーボール、ハンドボール、ソフトボール、バスケットボール、軟式野球、相撲)	4月～3月
佐賀県中学校体育連盟支援事業	佐賀国スポに向けた選手強化について中学生の育成が重要であることから、県中体連専門部及び各地区の中体連専門部が実施する強化練習会や遠征等に要する経費を補助する。	・地区中体連及び中体連専門部に補助金を交付。地区中体連及び中体連専門部において、普及・育成・強化及び指導者の資質向上事業を実施。	4月～3月

(3)佐賀国スポ指導者養成事業

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
指導者招聘事業	国内外の優れた指導者を招聘し、一定期間又は複数回にわたり、指導者や選手を対象とした講習会等を実施する経費に対し補助を行う。	・各競技団体でトップアドバイザーを招聘。 サッカー：クルスティアン・カナ氏・影山雅永氏 ボウリング：山下知且氏 等 30競技	4月～3月 (県スポ協実施)
指導者研修事業	有望な指導者を(公財)日本スポーツ協会等が実施する研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認コーチ研修会参加 ・中央競技団体による研修会等参加	4月～3月 (県スポ協実施)
スポーツアドバイザー配置事業	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、指導体制を充実させるため、スポーツアドバイザーを配置する。	・剣道競技においてスポーツアドバイザーによる指導を実施。少年層の競技力向上を図り、錬成会等を実施。	4月～3月

(4)佐賀国スポトレーナー等養成事業

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
スタッフ育成事業	スポーツトレーナー等を(公財)日本スポーツ協会等が実施する専門の研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー要請講習会参加 ・第74回国民体育大会帯同トレーナー(15競技に25名派遣)	4月～3月 (県スポ協実施)

(5)佐賀国スポ環境整備事業

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
競技用具等購入事業	競技力向上に資する用具を計画的に整備し、各競技団体の強化活動がより効率的かつ効果的に実施されるよう支援する。	競技用具購入、競技団体への貸付。 ・陸上：フレキハードル、タイム測定装置 ・ボート：舵手付きクワドルプル、ダブルスカル ・空手：デジタルタイマー ・水泳：水球ゴール ・カヌー：スプリントカヤックフォア、スプリントカナディアンペア ・自転車：競技用自転車	必要に応じて

参考事業(県事業)

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
SEA(スポーツ国際交流員)活用事業	CLAIR(自治体国際化協会)のJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)のひとつであるSEA(スポーツ国際交流員)を活用し、佐賀国スポに向けての競技力向上を図る。	・フィジー共和国よりチヨネ氏を招聘し(H29より)、県内ジュニアラグビーチームを中心に指導を実施。	4月～8月
スポーツエリートアカデミー事業	○一流指導者等活用長期育成プログラム ・指導実績の高い指導者を、年間5回以上、佐賀に招聘し、選手強化と指導者支援を充実 ○専門家サポート活用・スタディツアープログラム ・動作解析、メンタル、医科学等専門家のサポートを導入、全国大会等の視察による意識付け ○IMGや味の素等との連携プログラム ・国内外と一流育成機関と連携し、各機関の得意分野のノウハウを取り入れ、県内の競技力向上を促進	○一流指導者長期継続招聘事業 ラグビー、バレーボール、レスリング、クレー射撃、体操(新体操)、馬術、柔道、スポーツクライミング、水泳(水球)、ホッケー、空手道、剣道、ボウリング、サッカー、バドミントン、障害者スポーツ ○専門家サポート、スタディツアー ラグビー、レスリング、体操(新体操)、柔道、スポーツクライミング、水泳(水球)、空手道、ソフトテニス、バドミントン、障害者スポーツ、テニス、ボクシング、ハンドボール、ソフトボール、フェンシング、卓球	4月～3月

2. 全国障害者スポーツ大会

(1) 会議等の開催

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
障害者スポーツ普及委員会の開催	障害者スポーツ普及に関する調査・決定を行う。	第9回 11月14日(木) 第10回 1月29日(水)開催	11月・2月
競技団体連絡会の開催	団体競技の普及に関する検討を行う。	第1回 8月20日(火)開催 第2回 3月26日(木)開催 予定	6月・3月

(2) 全国障害者スポーツ大会選手等育成強化事業

取組	R2 取組内容	R1 実施状況	実施時期
団体競技選手発掘・育成事業	令和5年佐賀大会において、団体競技の全競技種目出場を目指し、未普及競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行い、チーム結成につなげる。	・5競技を4地区で計17回実施。 延べ240名の障害者が参加。	4月～2月
個人競技選手発掘・育成事業	令和5年佐賀大会において、個人競技で多くのメダル獲得を目指し、個人全競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行う。	・4競技を3地区で計7回実施。延べ52名の障害者が参加。	4月～2月
団体・個人競技チーム活動支援事業(旧:団体競技チーム活動支援事業)	競技力の向上を図るため、団体・個人競技チームへの活動費の支援を行う。	・団体競技6チームに活動費を補助。 ・個人競技3チームに活動費を補助。	4月～3月
団体競技チーム競技力向上事業	団体競技の競技力向上を図るため、団体競技の大会を開催する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止(車いすバスケットボール)。	4月～2月
育成指定選手の認定事業	令和5年佐賀大会に出場が見込まれる選手を育成指定選手として認定する。	・団体競技5競技63名、個人競技5競技20名、計83名を育成指定選手として認定し認定証・認定Tシャツを交付。	9月
指導者育成事業	障がい者スポーツ指導員を養成するため、資格講習会の受講料補助を行う。また、指導力向上を図るため、団体競技の指導者を全国大会へ派遣する。	・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会受講者19名に受講料を補助。 ・台風の影響により、全国大会開催中止となったため、派遣なし。	4月～2月
団体競技普及事業(旧:チーム立上げ支援事業)	団体競技の未普及競技のために特別支援学校等で購入された競技用具の買替や修繕費用の補助を行う。	・特別支援学校7校に用具購入を補助。	4月～3月
広報活動事業【新規】	大会の認知度向上を図り、選手発掘へとつなげるための広報を行う。	・特別支援学校等に、選手募集の広告物を作成・配布予定。	6月～3月

第4号議案 令和2年度収支予算(案)について

1 収入

(単位:千円)

科目	R2年度 当初予算額	R1年度 現計予算額	比較(R2-R1)	備考
負担金	402,512	326,937	75,575	佐賀県負担金
繰越金	3,900	10,773	△ 6,873	繰越金
雑収入	2	2	0	利息収入等
計	406,414	337,712	68,702	

2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	R2年度 当初予算額	R1年度 現計予算額	比較(R2-R1)	備考	
国民体育大会・ 国民スポーツ大会		400,250	331,306	68,944		
	事業費		231,454	170,002	61,452	選手育成費
			5,400	1,800	3,600	運動部活動等設立支援費
			22,680	18,000	4,680	選手支援費(奨学金)
			6,547	4,889	1,658	強化指定選手認定費
			1,050	900	150	ターゲットエイジ選手発掘費
			3,535	3,060	475	トライアウト開催費
			36,400	43,360	△ 6,960	強化拠点校支援費
			13,200	11,475	1,725	強化拠点地域支援費
			4,500	4,500	0	強化企業チーム支援費
			8,000	11,000	△ 3,000	佐賀県中学校体育連盟支援費
			24,298	20,835	3,463	指導者招聘費
			12,444	10,503	1,941	指導者研修費
			7,016	3,534	3,482	スポーツアドバイザー配置費
			2,422	4,212	△ 1,790	スタッフ育成費
	16,360	17,780	△ 1,420	競技用具等購入費		
	事務局費	4,944	5,456	△ 512	本部会議、国スポ選手強化対策委員会、各種専門委員会開催経費等	
全国障害者 スポーツ大会		6,164	6,406	△ 242		
	事業費		978	1,067	△ 89	団体競技選手発掘・育成費
			718	577	141	個人競技選手発掘・育成費
			1,958	1,305	653	団体・個人競技チーム活動支援費
			868	1,167	△ 299	団体競技チーム競技力向上費
			729	477	252	育成指定選手の認定費
			340	56	284	指導者育成費
			163	1,025	△ 862	団体競技普及費
			120	170	△ 50	広報活動費
	事務局費	290	562	△ 272	障害者スポーツ普及委員会開催経費等	
計		406,414	337,712	68,702		

第5号議案 競技力向上推進本部の名称変更及び本部規約の改正(案)

名称新旧対照表

新	旧	備考欄
(名称) 佐賀県競技力向上推進本部	(名称) <u>国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会</u> 佐賀県競技力向上推進本部	(変更)

【変更理由】

現在、当推進本部では「SAGA スポーツピラミッド（SSP）構想」に基づき、競技力の向上を図っているところである。当面の目標は、SAGA2023 であるが、県としては、SAGA2023 をゴールとすることなく、SSP 構想に基づき、その後も競技力の向上を含む取組を行政と民間が連携し、推進することとしている。

競技力向上についても、SAGA2023 がゴールではなく、その後も続くことをより明確にするとともに、時限的ではなく、継続的な組織を目指すため、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」を削除し、「佐賀県競技力向上推進本部」に改める。

参考資料

(1) 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案) P 28～ P 30

(2) 令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置(案) P 31～ P 32

※令和2年度佐賀県強化企業チーム P 33

佐賀県強化拠点校支援事業 実施要領

1 目的

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、強化の拠点となる中学校及び高等学校を佐賀県強化拠点校（以下「拠点校」という。）に指定し、競技力の向上を図る。

2 拠点校の種類と内容

内容		種類	
		指定校	拠点校
対象校種		中学校及び高等学校	高等学校
位置付け		佐賀国スポを見据え、強化の主軸となる学校として指定	指定校に準ずる学校として指定
推進本部の支援	補助金	佐賀県強化指定校活動支援事業費	
		佐賀国スポ運動部活動等設立及び活動支援事業費	
	その他	競技力の向上を図る上で、推進本部が必要と認めるもの	

3 選定基準

国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に係る運動部を有する、若しくは新設する中学校及び高等学校のうち、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、別に定める「佐賀県強化拠点校選定要領」に基づき、推進本部が選定する。

- (1) 競技団体から推薦されている。
- (2) 佐賀県教育委員会が指定する「県立高等学校スポーツ推進指定校」に該当している。
- (3) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (4) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

4 指定期間

次に掲げる期間とする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により延長又は短縮することがある。

- (1) 平成29年度～平成31年度 ----- 1年間
- (2) 令和2年度～令和5年度 ----- 4年間

佐賀県強化拠点校選定要領

1 高等学校における強化拠点校

(1) 選定枠について

- i 指定校 原則、男女各2校以内
- ii 推進校 原則、男女各2校以内

(2) 県立高等学校スポーツ推進指定校(特色選抜試験B方式該当校)の取扱い

- i 原則、推進校候補以上として選定

(3) 競技団体推薦と高等学校意向の関係

- i 競技団体からの推薦を高等学校に伝え、意向を確認する。
 - ① 競技団体推薦が有り、高等学校意向も有る … 指定校又は推進校候補として選定
 - ② 競技団体推薦が有り、高等学校意向は無い … 指定校又は推進校候補として不選定

(4) 会場地市町推薦の取扱い(平成30年度以降)

- i 会場地市町からの推薦を競技団体に伝え、意向を確認する。
 - ① 会場地市町推薦が有り、競技団体意向も有る … (3)に準ずる。
 - ② 会場地市町推薦が有り、競技団体意向は無い … 指定校又は推進校候補として不選定

(5) 競技力向上対策本部における特別選定

- i 競技団体ヒアリング、学校ヒアリング及び県・市町教育委員会の意向確認により総合的な判断を行い、指定校又は推進校候補の特別選定を行う。

2 中学校における強化拠点校

(1) 選定枠について

- i 指定校 原則、男女各2校以内

(2) 競技団体推薦と中学校等意向の関係

- i 競技団体からの推薦を中学校等に伝え、意向を確認する。
 - ① 競技団体推薦が有り、中学校等意向も有る … 指定校候補として選定
 - ② 競技団体推薦が有り、中学校等意向は無い … 指定校候補として不選定

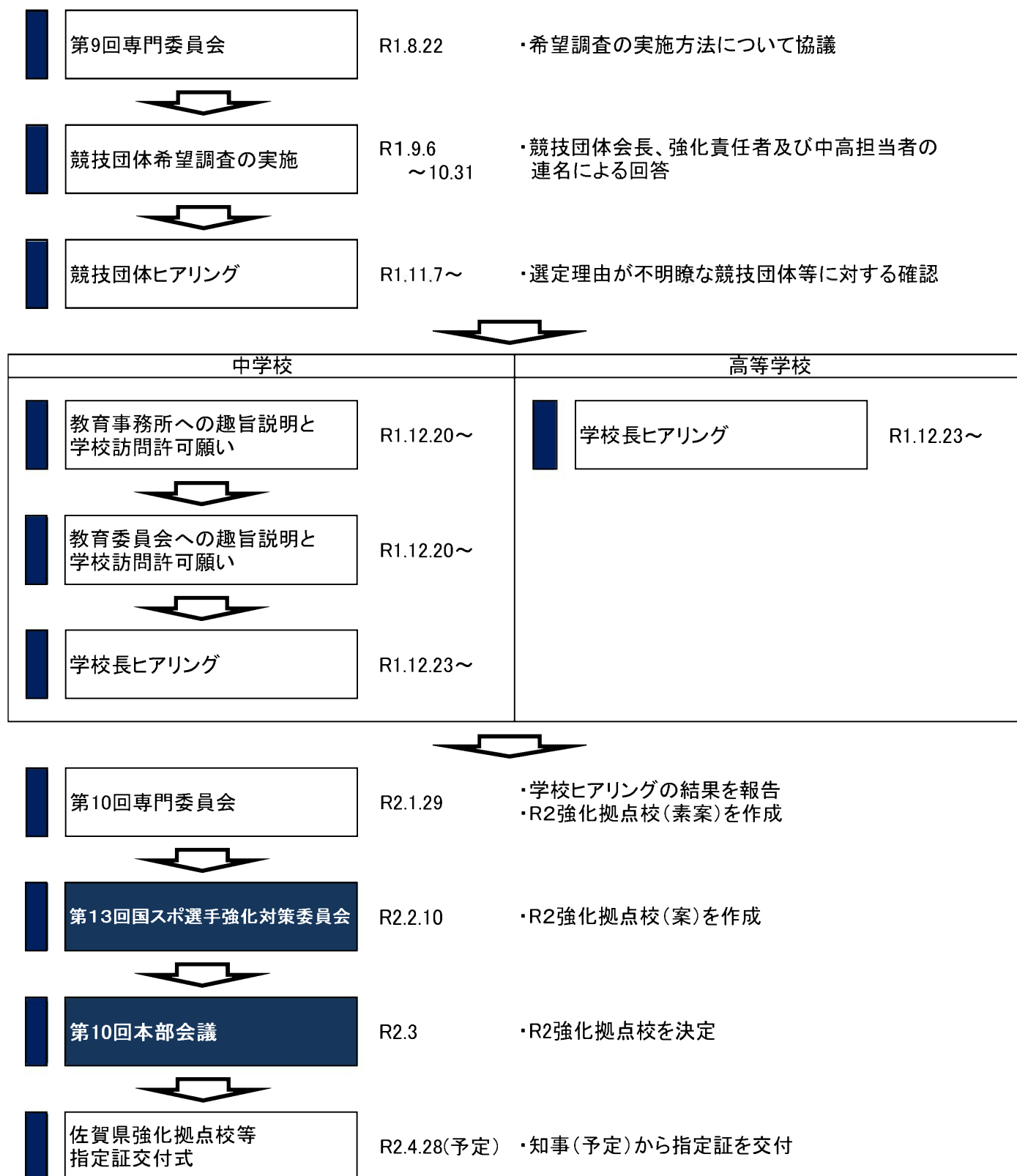
(3) 会場地市町推薦の取扱い(平成30年度以降)

- i 会場地市町からの推薦を競技団体に伝え、意向を確認する。
 - ① 会場地市町推薦が有り、競技団体意向も有る … (2)に準ずる。
 - ② 会場地市町推薦が有り、競技団体意向は無い … 指定校候補として不選定

(4) 競技力向上対策本部における特別選定

- i 競技団体ヒアリング、学校ヒアリング及び県・市町教育委員会の意向確認により総合的な判断を行い、指定校候補の特別選定を行う。

決定までのスケジュール



佐賀県強化拠点地域支援事業 実施要領

1 目的

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.1.0」第3章・2・（2）・①・エに基づき、競技毎に強化を図っていく特定の地域を佐賀県強化拠点地域（以下「拠点地域」という。）に指定し、少年種別選手の競技力の向上を図る。

2 拠点地域に対する支援

項目	内容	
強化費の交付	交付先	拠点地域で活動しているクラブチーム。
	対象経費	強化活動に要する経費。
指導者の適正配置	専門性の高い優秀な指導者が、拠点地域内に配置されるよう努める。	

3 選定方法

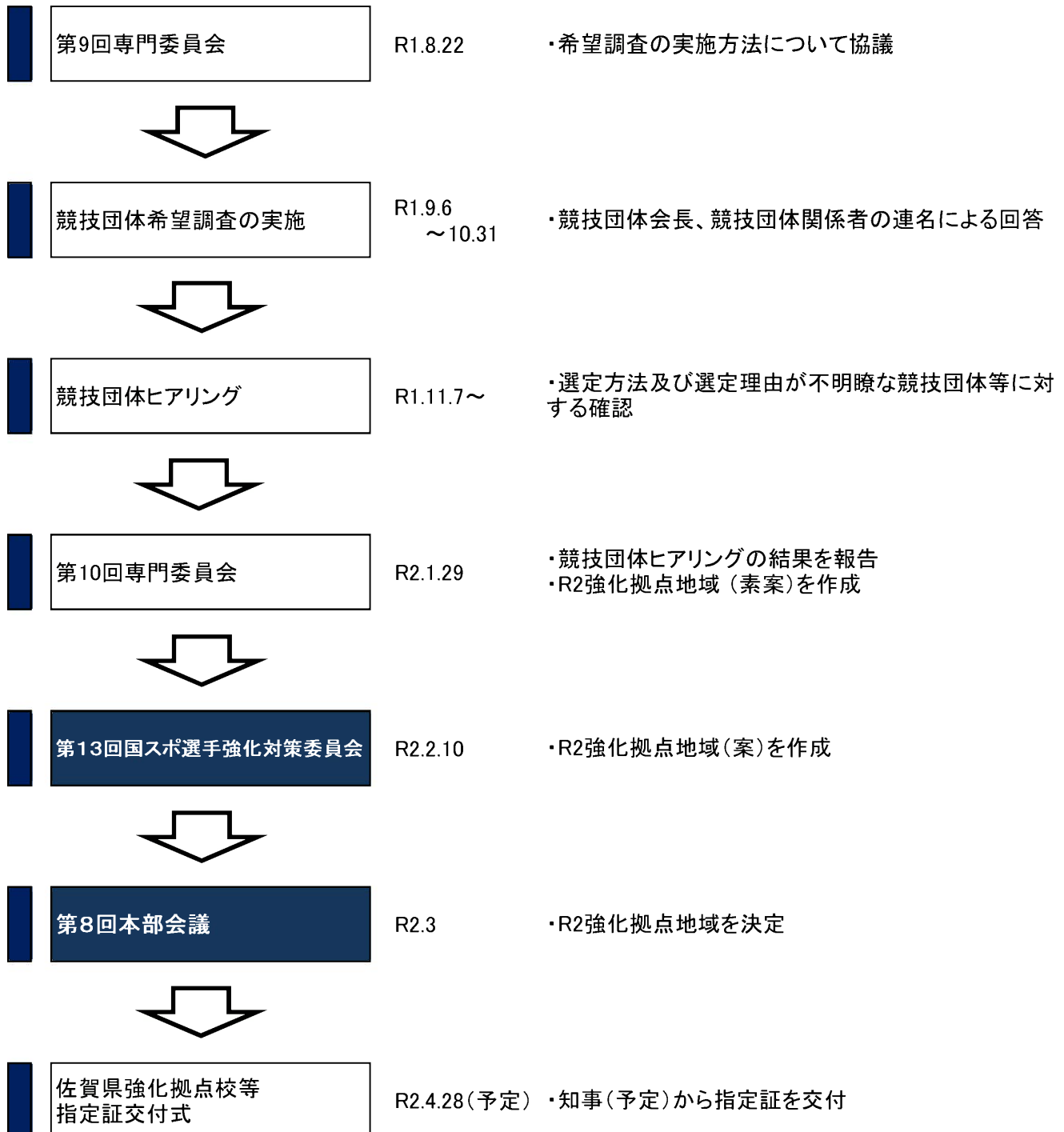
国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に係るクラブチームを有する地域のうち、当該競技団体の強化を図る意向と合致し、且つ次のいずれかの条件を満たす場合に限り、原則として1競技(種目)につき1地域(クラブチーム)を選定する。

- (1) 中学校に部活動がない競技(種目)の中で、一定の地域を拠点として活動がなされている。
- (2) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (3) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

4 指定期間

指定期間は、原則として令和5年度までとする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により短縮することがある。

決定までのスケジュール



参 考：令和2年度佐賀県強化企業チーム

NO	競技(種目)名	チーム名	企業名
1	バレーボール(女子)	久光製薬スプリングス	SAGA久光スプリングス株式会社
2	ハンドボール(男子)	トヨタ紡織九州レッドトルネード	トヨタ紡織九州株式会社
3	ソフトボール(男子)	ダイワアクト	大和産業株式会社
4	バスケットボール(女子)	医療法人ひらまつ病院	医療法人ひらまつ病院 (系列企業含む)
5	軟式野球(男子)	医療法人ひらまつ病院	
6	ソフトボール(女子)	ひらまつ病院SAGA ALL STARS	
7	相撲(男子)	医療法人ひらまつ病院	